

## 施策4 地域の歴史・文化資源の継承

### 基本事業1 文化財の保存と活用

基本事業名	対象	意図	成果指標					進捗度とその理由等
			項目	単位	R5実績	R6実績	R7目標	
4-1 文化財の保存と活用	指定文化財 市民	適切に保存・継承される。 地域の歴史を知り、郷土への愛着を育む。	①国、県、市の指定文化財の 件数	①件	① 88	① 89	① 89	<b>A</b> 国・県・市による指定文化財は、各所有者のもと適切に保存、管理が行われている。 博物館では収蔵品を適切に保管し、常設展示、企画展等での活用を図っている。企画展等においては、学芸員による解説会を開催するなど、地域の特色豊かな歴史、自然、文化への興味関心を喚起し、来館者増に努めるも、令和6年度の入館者数は、林野火災の影響により、前年度より減少した。 引き続き、文化財の適切な保存に取り組むとともに、「文化財保存活用地域計画」を策定し、総合的・一体的な活用の在り方等についても検討していく。
			②博物館資料登録件数	②件	② 6,437	② 6,440	② 6,400	
			③博物館入館者数	③人	③ 7,052	③ 6,520	③ 8,400	

事務事業名	対象	意図	事業内容	成果指標					進捗度とその理由	今後の方向性等
				項目	単位	R5実績	R6実績	R7目標		
4-1-1 埋蔵文化財調査事業	埋蔵文化財	・埋蔵文化財を記録保存する。 ・調査報告書を作成・配布し、調査結果の活用を図る。	開発行為に係る埋蔵文化財の保護指導・試掘・確認調査、宮野貝塚における取付道路建設に伴う発掘調査、出土資料の整理作業	①発掘調査による出土遺物量	①箱	①1	①218	①50	<b>A</b> 開発行為に伴い、発掘調査の可能性の有無など、事前情報の把握に努めながら、計画的に事業を実施し、埋蔵文化財の保存に努めている。	○埋蔵文化財包蔵地における開発計画の事前申請の必要性について、一層の周知を図っていく。 埋蔵文化財発掘調査にICT技術を導入するなど、効率的な調査手法について検討していく。
				②発掘調査報告書を刊行した遺跡数	②遺跡	②2	②0	②1		
4-1-2 博物館調査研究事業	市立博物館	気仙地域の自然と文化の理解に資する資料に学術情報を付加する。	博物館専門研究員の委嘱、気仙地域出土資料調査(考古)、三陸ジオパークジオサイト調査(地質)、研究文献・専門図面の購入、文化財調査研究事業への協力等	登録資料数	件	6,437	6,440	6,400	<b>A</b> 調査研究を進めることにより、博物館資料の適切な保存、活用が図られた。	○中長期的な計画のもと調査研究を進め、資料の登録件数を増やしていく。

基本事業2 伝統文化の継承

基本事業名	対象	意図	成果指標					進捗度とその理由等
			項目	単位	R5実績	R6実績	R7目標	
4-2 伝統文化の継承	伝統文化継承団体	後継者を育成し、伝統文化を継承する。	①大船渡市郷土芸能協会加盟団体数 ②「郷土芸能や地域の祭などが継承されている」と答えた市民の割合(市民意識調査)	①団体 ②%	① 28 ② 62.7	① 27 ② 62.8	① 30 ② 50.0	<b>A</b> 市民意識調査において、「郷土芸能や地域の祭などが継承されている」と答えた割合は6割を超えており、市内で活動を目にするなど、市民が郷土芸能や祭りと身近に接していることがうかがえる。 民俗芸能は、後継者不足等により次世代への継承に影響がでることが危惧されている。 伝統文化の継承のため、関係団体と情報を共有し、新たな担い手の確保や民族芸能の後継者育成を支援するとともに、各種イベントを通じて、市内の民俗芸能の魅力や価値の周知に努める。

事務事業名	対象	意図	事業内容	成果指標					進捗度とその理由	今後の方向性等
				項目	単位	R5実績	R6実績	R7目標		
4-2-1 文化財保護管理事業	指定文化財、指定文化財所有者、市内民俗芸能団体	・文化財の状況を把握し、専門家の意見を踏まえて文化財所有者に指導・支援を行う。 ・市が所有する文化財及び設備等を適切に管理する。 ・民俗芸能の継承活動を活性化する。	文化財調査委員会議の開催、文化財公有地等の刈払い、国特別天然記念物ニホンカモシカの保護及び滅失処理、文化財の現状変更等各種届出の対応、文化財パトロール、民俗芸能の育成支援	①滅失せず現状が維持された指定文化財数 ②郷土芸能協会加盟団体出演回数	①件 ②回	① 88 ② 20	① 89 ② 20	① 89 ② 20	<b>A</b> 指定文化財の保護・管理は概ね適切に行われている。「猪川観音長谷寺絵馬群」が岩手県有形文化財に指定されたことにより、指定文化財数が89件となった。 大船渡市民俗芸能フェスティバルPart2の開催を支援するほか、民俗芸能団体が出演する各種イベント情報の周知に努めた。 <b>B</b> 指定文化財の個々の課題や現状把握に努め、所有者と協力し、適正な維持管理を行っている。 民俗芸能団体の課題に対応策を講じるとともに、各種団体と連携し、市内民俗芸能の魅力や価値の周知に努める。	

施策4 総括

施策名	対象	意図	成果指標					進捗度とその理由等
			項目	単位	R5実績	R6実績	R7目標	
4 地域の歴史・文化資源の継承	市民	郷土の伝統や文化を知り、郷土に誇りと愛着を持つ。	「郷土の伝統文化や文化財を大切にしたい」と答えた市民の割合(市民意識調査)	%	78.1	75.2	80.0	<b>A</b> 市民意識調査で「伝統文化や文化財を大切にしたい」と回答した割合は目標値に達しなかったが、出張展示会や郷土芸能関係のイベントなどに多くの参加があり、高い満足度を得ていることから、愛護意識の醸成は図られている。 引き続き、市民への情報発信を工夫し、文化財の普及・啓発に努めながら、民俗芸能の活動促進や後継者育成を支援していく。 地域資源である文化財を将来に確実に継承するため、文化財保存活用地域計画を策定し、市民、地域と一体になり、文化財の総合的な保存、活用に取り組む必要がある。  施策の方向性(重点項目、課題等) ・史跡、名勝、天然記念物など指定文化財の適正な保護管理とその活用 ・埋蔵文化財発掘調査及び整理作業の着実な推進と調査成果の活用 ・民俗芸能の活動促進と後継者育成への支援 ・文化財を活用した市の魅力発信 ・文化財保存活用地域計画の策定